都筑こどもニュース

つづきジュニア編集局の記者たちが、年間を通して取材した「都筑こどもニュース」のダイジェストをお届けします。
ホームページでもっとくわしく取材の記事をみることができます。「つづきジュニア編集局」で検索してぜひごらんください。

https://junior.minicity-plus.jp/

GOGB取材

GO GBは、ゴー・ジービー:がんばれ、英国(Great Britain)の略で、ホスト地としての、応援の合い言葉です!

☆英国事前キャンプ取材

選手は、毎日午前中と午後2時間、9日間続けての練習を横浜国際プールで行うため来日しました。観客席から、練習のようすを見せてもらいました。見ている私たちに手を振ってくれたりして、とてもうれしかったです。(2019.7.13)

☆交流レセプション参加

レセプションでは、国際プールで練習しているコーラスグループが曲を歌って選手たちをむかえました。そして四季の森小学校、北山田小学校のみなさんが作った、横浜の花を押し花にしたメッセージカードをプレゼント。東山田小学校のこどもたちが「世界の約束」という曲をリコーダーで演奏しました。英国選手達からお礼の言葉と、メッセージボードをいただき、全員で集合写真をとりました。選手達が退場するときに、こどもたちみんなで花道のトンネルを作りました。選手達は、みんなにハイタッチしてくれました。水泳選手の人たちは、みんな手が大きく、私たちの顔の一つ分はありました。背も高くて、すごいなと思いました。(2019.7.16)

☆日本財団パラアリーナ取材

日本財団パラアリーナは、東京パラリンピック競技大会に向け、競技の強化やパラリンピックのことを多くの人に知ってもらうために、建設されました。日本代表選手の合宿に使われたり、クラブチームの練習場所として利用することができます。施設は、誰にでもわかりやすい、ユニバーサルデザインが取り入れられていて、点字ブロックやスロープ、車いす同士でもすれ違える幅の通路など、完全にバリアフリー化されています。

「アリーナ」では車いすラクビーや、ボッチャの練習を行っていました。選手が乗っている車いすは、タイヤをハの字に取り付けてあり、攻撃と守備で車いすの作りが違っていました。選手同士がぶつかると、ドーンという大きな音がアリーナにひびいて、選手のみなさんはぶつかったり倒れたりしてこわくないのかな、痛くないのかな、と思いました。

☆ハリー王子との交流

英国のハリー王子が、パラアリーナを訪れました。ハリー王子はイングランドのラグビー協会の名誉総裁を務めています。王子が選手たち一人一人に声をかけている姿を見てやさしい方だなと思いました。取材していた私たちにも笑顔で話しかけてくださいました。横浜にイギリスの選手が来るのがとても楽しみです。(2019.11.2)

未来を豊かにする会社 京セラ

都筑区の加賀原にある、大きなビルの「京セラ横浜事業所」に取材に行きました。京セラは、1959年にファインセラミックスの専門メーカーからスタートし、今年は創業60周年です。現在横浜事業所では832人と、とても多くの人が働いています。

建物の1階にショールームがあり、横浜事業所で開発している携帯電話のほか、セラミックナイフなどのセラミック製品、人工宝石、太陽光パネルなどが展示されていました。他にも、京セラは自動車のカメラや医療用機器、ファインセラミック部品など大きなものから、ミリ単位のちいさな部品までたくさんの製品をつくっています。

未来に向けて、京セラとして今後さらに頑張っていきたいことは、通信関連、自動車の安全性を考えた製品を増やす、全ての家に電力の自給自足に役立つ装置を作る、医療ヘルスケア関連で人の支えになる、などだそうです。未来を豊かにする新しい製品をこれからも作ってほしいです。(2019.7.24)

インスピレーションが生まれる研究所 資生堂S/PARK

S/PARKという名前は多くの人が集まる「パーク(公園)」とイノベーションが次々と生まれる「スパークする研究所」という二つの意味がこめられています。

建物に入るとまず最初に、世界に一つしかないという、16Kの巨大なモニターの映像のうつくしさ、すごさに圧倒されます。

ビルは地上16階、地下1階の17階。1Fには資生堂パーラーというカフェや、スポーツスタジオ、資生堂の化粧品を体験できるところがあります。また「S/PARK Beauty Bar」という化粧品の工場では、お客さま一人ひとりの肌に合ったオリジナル化粧品をカウンセリングしながら作ってくれます。お客さまと研究者が対話をしながら、化粧品をつくっていくことで、研究開発に役立てていくことができると考え、このようなコーナーをつくりました。2Fのミュージアムは体験しながら、資生堂の歩みや化粧品の秘密などを知ることができます。

創業1872年で100年以上前からある資生堂は、化粧品のオリンピックと言われる、世界最大の研究発表会IFSCCという大会で、最優秀賞を26回も受賞していて、その回数は世界一です。これは他のどの化粧品会社も成しとげていません。(2019.8.1)

完成間近!横浜市役所 新市庁舎整備中!

新市庁舎は真っ白な灯台と船がモチーフになっています。現市庁舎(2019年現在)は関内駅のそばにありますが、施設が古くなり、仕事が増えて、一つの建物に収まらなくなってしまったので、新市庁舎を作ることになりました。なんと六千人の職員がお引越しをします。

新市庁舎の1～3階にはレストランなども入り、アトリウムではイベントを開くことができたり、一般の人が気軽に立ち寄れる、にぎわいのあるフロアになるそうです。完成予想のシュミレーション動画を見せてもらいましたが、とても天井が高くて、開放感のある楽しそうな場所でした。また、ユニバーサルデザインもいろんな場所にちりばめられています。主な例は、車いすの人でも快適に見学できる市議会です。

船がモチーフの3～8階に市議会の会議場はあって、太陽の光がたくさん入る設計がされています。灯台モチーフの建物は31階の高さで、主に行政が入ります。もちろんエレベーターもありますが、屋上までの階段は、なんと870段。上から見たらとっても高いのでしょう。あたらしい横浜のシンボルが、もうすぐ出来上がります。(2019.8.5)

都筑区早渕から環境を支える いであ株式会社

「いであ株式会社」は60年以上の歴史がある会社で、創立当時は気象予報をする会社でした。「いであ」とは、「Infrastructure(社会基盤整備)」、「Disaster(災害)」、「Environment(環境)」、「Amenity(快適性)」の4つの英語の言葉の頭文字を組み合わせたものです。また、哲学者プラトンが唱えた「イデア」(ギリシャ語で「姿形、原型」)からもイメージされました。

主に環境を守るための調査をしたり、調査に基づくアドバイスをしたりする仕事をしています。たとえば、水産資源の保全対策を行ったり、航空機を用いて航空調査を行ったり、道路などの設計も担当しているそうです。環境保全を行っているNPO法人地球環境カレッジ(GEC)でも社員が講師になったり、ボランティアとして活躍したりして、こどもから大人まで幅広い方たちへの講座や自然観察会などを行っています。

「いであ」はわたしたちの生活を見えないところから支えてくれる「縁の下の力持ち」であることがわかりました。(2019.8.7)

命の水をつなぐ 中村ウォータープラザ

阪東橋近くにある「中村ウォータープラザ内の管路研修施設」を取材しました。ここは、水道の技術を学ぶことができる一通りの設備があり、横浜市水道局の方が技術をみがく施設です。水道管の点検の練習、水漏れへの対応、管の交換をすばやくやるための練習を見学しました。衣類のまま、胸まで水につかって、工事を行う研修もしていました。すばやくていねいに仕事ができるよう、本物と同じ状態のセットが用意してあり、水道局の人は暑い中長袖を着て作業にはげんでいました。

私たちも一部を体験しました。水撃圧体感装置の体験では、思った以上に水の圧力が強く、こんなに、水が重いとは思いませんでした。また、管の漏れの修理の体験では、思うようにはいかず、すごく力を出さないと直せないんだ、と思いました。

今回の見学で、水道工事のことがよくわかりました。横浜市の水源のひとつ、道志川のお水のペットボトル「はまっ子どうし」をいただきました。すごくおいしいお水でした。毎日、普通に使っている水だけど、大切に使いたいと思いました。(2019.8.1)

段ボール加工に楽しさを 大幸紙工

都筑区川向町にある、「大幸紙工株式会社横浜工場」。ここでは「お客さんに喜んでもらえるような製品を作る」を目標に約20人が、毎日段ボールの加工を行っています。製品がリサイクル可能であることが、環境にも優しく、段ボールを使ったものづくりのメリットだといいます。

工場内は機械がたくさんありました。高圧で刃を押し当てることで、固い段ボールでも型抜きが出来る機械や、段ボールへの印刷・カット・折り曲げ線を付ける作業の3つが一度にできてしまうものなど多種多様な機械が並んでいます。その中でも目を引く機械がありました。パソコンで描いた図面の通りに段ボールをカットする機械で、曲線であろうと、いとも簡単に切り進めていきます。この機械を使って試作された段ボール模型は、どれもクオリティが高くて、驚きました。工場内の、猫の形をした可愛らしい飾りも、壁の掛け時計、引き出し付家具も段ボール製でした。これからも「楽しい」段ボール加工を続けていってほしいです。(2019.7.23)

みんなを楽しく健康に!を目指す GODAIスポーツ

港北みなもの「GODAI港北店」を取材しました。「インドアスクール」で、季節・天候問わず、快適に教えてもらうことができます。GODAI港北は、日本で生徒数ナンバーワンに輝いたことがあります。現在の会員総数は約3,000人、うちこどもの数は700人。一番多いのは、大人は40代、こどもは小学3、4年生です。

テニス、ゴルフ、ゴールデンキッズとレッスン内容もとても豊富です。ゴールデンキッズとは、一生に一度しかない「ゴールデンエイジ」に、走り・ドッジボール・ダンスの3つのプログラムを組み合わせたレッスンをして、将来やりたいスポーツを見つけた時に困らないよう、身体の土台・基礎づくりをするスクールです。

「礼儀」についても将来必要なマナーを楽しく学ぶことができます。「礼儀」ときくと少しかたいイメージがあるけれど、楽しく学べるのはいいなと思いました。GODAIのようなスポーツクラブがもっと増えて、みんな幸せで健康に過ごせるとよいです。(2019.10.24)

学力を伸ばしたい小学生に
読売KODOMO新聞
毎週木曜日発行
◆月額550円(税込み)
◆タブロイド判 オールカラー 20ページ
読売KODOMO新聞は、早いうちから新聞に親しむ習慣を身に付けてもらい、子どもたちの成長を後押しすることを願って、2011年3月に創刊した小学生向けの新聞です。イラストや写真を大きく使ったレイアウトで、ニュースや社会の仕組みを楽しく、分かりやすくお伝えします。1週間の政治、経済、事件、国際、スポーツの主要記事を選び抜いて掲載しているので、家族で読むのはもちろん、学校の授業にも役立ちます。学年誌や図鑑の編集に定評のある小学館や、大手学習塾・四谷大塚の協力も受け、他紙では読めない楽しい読み物や、学習コーナーを用意しています。

進路が気になる中高生に
読売中高生新聞
◆毎週金曜日発行
◆月額850円(税込み)
◆タブロイド判 オールカラー 24ページ
読売中高生新聞は、「10代が世の中を知る教科書」のような新聞を目指し、2014年11月に創刊しました。ニュースをはじめ、スポーツ、英語学習、書評、エンターテインメントまで、30以上の多彩なコーナーがあります。若者が読みなれた横書きを採用し、注目のニュースはイラスト・図表をふんだんに使って紹介。将来の職業を考える機会となるように、各界のプロを密着取材した記事を毎週掲載しているのも特色です。また、スマートフォン用の無料投稿アプリ「Yteen」を開発し、安全なネット環境での交流・議論の場を読者に提供しています。
申し込みは 0120-4343-81 または最寄りのYC(読売新聞販売店)へ

広告
住まいの情報館&モデルハウス&ドッグラン
facebook 情報発信中♪
ハウスクエア横浜
Housquare Yokohama®
お子さまの成長・家族のライフスタイル 家のこと… 気になりはじめたらお気軽に!
ハウスクエア横浜主宰 無料相談サービス 住まいづくり安心サポート
◆新築・リフォーム相談
◆FPの資金・相続相談
※予約制 詳細は↓
ハウスクエア安心サポート 検索
全てが集まる「多機能住宅展示場」
体験 相談 情報
家族で楽しめるイベント モデルハウス見学ツアー開催!
●人気キャラクターショー
●移動動物園&遊園地
●親子ものづくりワークショップ
●子供部屋インテリア・収納セミナー
●コンサート
ワンこがん&家族の一言
三浦健太氏監修 ドッグラン ワンコパーク
最新のモデルハウスと住関連ショールームが夢の住まいを応援
〒224-0001 横浜市都筑区中川1丁目4-1 ☎045-912-4110 地下鉄ブルーライン中川駅下車徒歩2分♪Ⓟ有

広告
横浜最大級のインドアテニススクール minamo4階
GO!GO!GODAI!
スポーツの年 応援宣言!!
この新聞を持参で 体験レッスン料 通常¥1,000(+税)が 無料!!
体験後1回目入会で入会初月受講料が なんと・・・
¥2020
1月・2月・3月期入会者対象
GODAI港北
Tel.045-590-3321